

国土交通省 観光庁長官
久保 成人 様

国の施策等に関する 提案・要望書

(平成27年7月)

鳥取県自治体代表者会議
鳥取県地方分権推進連盟

鳥取県知事	平井伸治
鳥取県議会議長	齊木正一
鳥取県市長会長	深澤義彦
鳥取県市議会議長会長	房安光
鳥取県町村会長	小林昌司
鳥取県町村議会議長会長	光井哲治

山陰における広域観光周遊ルートの認定について

《提案・要望の内容》

○訪日外国人旅行者をターゲットとした「広域観光周遊ルート形成計画」の追加募集を行い、山陰地方のルートを早急に認定するとともに、鳥取・島根両県が行う地方創生に向けた広域連携の取組みに対して、支援を行うこと。

<参考>

1 ルートのコンセプト

日本人の心のルーツである神話の世界。地球の成り立ちを体感できる自然。その両方を兼ね備えた山陰。都会から離れているからこそ、古（いにしえ）のままの佇まいが残された日本をさまざまな旅のスタイルで体験できるのが、山陰の魅力である。

神話の時代から続く歴史、文化、自然。古き良き日本の姿を残す山陰が、今だからこそ新しい。

2 ルートの考え方

本州西端の日本海側に位置する山陰は、中国山地と日本海に挟まれた、古代からの歴史、文化、自然が今に残る地域である。

その地を舞台に、素戔鳴尊や大国主命などの神々が活躍する古代神話が語り継がれており、また、かつて世界の銀の三分の一が生産されていた世界遺産「石見銀山」や、山陰海岸と隠岐の2つの世界ジオパークをはじめとする豊かな自然が守り伝えられ、今に残されている。

都会から離れているがゆえに、他の地域には残されていない日本の原風景を自転車やウォーキングなどさまざまな旅のスタイルで体験ができる山陰は、日本を旅慣れた外国人観光客に対しても新鮮な驚きを与えることができる。

3 ルート内の主な観光資源

神話：古事記、素戔鳴尊、大国主命、黄泉平坂、出雲大社、美保神社、須佐神社、玉造温泉、因幡の白兔（白兔神社）、赤岩神社、大山、弓ヶ浜

歴史：石見銀山、温泉津、後鳥羽上皇、後醍醐天皇、津和野、松江城、柿本人麻呂、大伴家持、たたら製鉄、三徳山・三朝温泉、風土記、若桜鉄道

自然：隠岐・山陰海岸の二つの世界ジオパーク、鳥取砂丘、大山、氷ノ山、三瓶山、石見海岸、棚田

文化：佐陀神能、石見神楽、麒麟獅子舞、隠岐牛突き、鷺舞、茶道、和紙（石州半紙、因州和紙）、足立美術館、妖怪、まんが

